



餅つきの由来は、奈良時代の記録によると「伊勢神宮などに鏡餅が備えられている」と書かれています。餅を食べる習慣は、武家の年中行事が商家へと伝わり、商家から農家へ。農家では、神仏や農具に餅を供え、豊作と家内安全を祈ったそうです。

園では、3日にみ仏様にお供えするためにお餅つきをします。

例年でしたら、保護者皆さんのお手伝いを頂いて、にぎやかに開催するのですが、今年度は、姉妹園の職員の手を借りて、職員のみで行います。残念です。

詳細については、後日プリントを配布します。



お手伝いをさせよう

子どもたちは、お手伝いが大好きです。「ありがとう」「助かったよ」という言葉を聞くと、自分が認められたと思うのでしょう。二度手間になると思われるかもしれませんが、その子にできるお手伝いを見つけ、役に立つ喜びをしっかりと味あわせてあげてください。

園でも、子どもたちと一緒に年末の大掃除をします。



乳幼児期の今、わが子にしてあげたいこと

先日、近隣の幼稚園で、新型コロナウイルスの陽性反応が見られたお子さんがいるという情報がありました。また、姉妹園でも園児のお父さんが新型コロナウイルスに感染したという報告がありました。PCR検査の結果、近隣の幼稚園も他に感染者は見られず、姉妹園のご家庭も園児を含め、ご家族には感染していないということでした。今はどこで、だれが感染するかわからない状況ですが、感染すると、今までどういう行動をとったかなど行動履歴を聞かれ、嫌な思いをすることもあるかもしれません。確実に身近にきているコロナです。園では、これからもマスクの着用はもちろん、手洗いうがいなどを徹底し、室内の換気などにも気を配っていきますが、保護者の皆さんもご協力をお願いいたします。

そのような中で開催いたしました「すいこうわくわくランド」ですが、多くの方々に楽しんでいただけたようで、とても嬉しく思っています。運動会もそうでしたが、今までと開催方法を変え、できるための対策を考えましたところ、「運動会の客席など、今後もこの方法が良い。」と言うご意見もいただき、行事の開催方法を見直す機会となりました。コロナが終息した際には、今までの良いところ、見直した方がよいことなど保護者の皆さんのご意見をお聞きしながら、新しい行事の在り方に、取り組んでまいりたいと思います。「わくわくランド」を楽しんでお帰りになる際、「やっぱりうどんやカレーが食べたいね」と、話しながらお帰りになるご家族もおられました。来年は、そうなることを願いながら見送りました。

さて、「すいこうわくわくランド」で、「乳幼児期の今、我が子にできること、してあげたいこと」という内容を簡単にお伝えしました。もう少し丁寧にお伝えいたします。

乳幼児期に大切なこととして、「入園のしおり」の冒頭に理事長が3つのポイントをあげております。まず、一つ目は、『しっかり可愛がってあげること』です。抱っこしてあげたり、褒めてあげたりすることで、「自分は愛されている」と実感させてあげることが大切です。愛されている、大切にされていると感じている子は、自己肯定感が育まれ、誰に対しても優しく思いやりの気持ちを持って、関

わることができるようになるのです。

二つ目は、1歳半ごろからみられる『自我の芽生えの時期の関わり方』です。「嫌だ、いやだ」を連発し、突然泣き出して親を困らせてしまいます。大人も戸惑い、つい怒ったり、言うことを聞かせようとしてしまいますが、「これが欲しかったんだね。」「あれが嫌だったんだね。」などと、気持ちに寄り添い、落ち着いたところで、「あなたの気持ち、わかってるよ。でもね…」と、返してあげることが大切かと思えます。それを繰り返すことによって、4歳児くらいになると、少しずつ我慢ができるようになり、良いこと悪い事の判断をすることができるようになるのです。

そして、三つ目は、『群れを作ること』です。子どもたちは、仲間と一緒に楽しく遊ぶためには、ちょっぴり我慢をしなくてはならないことを学びます。また、中学生や高校生、時には、お年寄りなどさまざまな人と触れ合う中で、優しさや温かさを感じ、相手に合わせたふるまい方を体験し、自分で考えて行動できるようになるのです。

この3つの大切なことに加えて、『しっかり遊ばせてあげること』も大切なことかと思えます。好きなあそびに取り組んでいる子どもたちは、もっと楽しくなるために考えたり、工夫したり、時には喧嘩をして泣いたり、様々な体験を通して、考える力や最後までやり抜く力などの非認知脳力が育まれていくのです。非認知脳力は、教えられる育つ力ではなく、あそびの中でしか育めない力なのです。これらのことを大切にして関わり、育ててもらった子どもは、当園の保育目標である「感謝と思いやりのある、自主的な行動のとれる子」に育っていくものと思います。不安の多い社会情勢の中ですが、しっかりと自己肯定感を持ち、たくましく生きていく力をつけてあげられるよう、ご家庭と園とで力を合わせ、楽しい子育てのお手伝いができれば幸いです。

これから寒さも厳しくなり、年の瀬という事であわただしい日々を過ごされることでしょうか。ご家族揃って楽しく新年を迎えられることを願っています。

園長

子育てメッセージ

ギュッとして ホッ!

ときどき、子どもも親も不安になる時があります。どうして泣くの?どうして話を聞いてくれないの?どうして...?どうして...?そんなとき、子どもをギュッと抱きしめてみてください。ほら、自分の心があたたかくなって、子どもの心もあたたかくなって...。ホッ!

それでいいんです。

年長さんも生まれてまだ6年。

しっかりギュッと抱きしめてあげてくださいね。

(社)全国私立保育園連盟
子育てメッセージより



年越しそばは、江戸時代ごろから食べられていました。その由来については、さまざまな説があります。

- そばの実が三角形なので、邪気を払う
 - そばは、細くて長いので長寿になるように
- などがあります。

また、地域によっては、年越しにうどんや、さけやぶりなどの年取り魚を食べる風習があります。